

安全上のご注意

取付けの前に、この「工事説明書」をよくお読みのうえ取付け工事をしてください。
ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。 △ 警告……誤った取扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
△ 注意……誤った取扱いをした時に、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
取付け工事完了後、試運転をおこない異常がないことを確認してください。また、この「工事説明書」は、「取扱説明書」と共に保管してください。

警告

- 屋内の壁コンセントで2口以上であっても単独で使用する。100V15A以上のコンセントが確認する。他の電気器具の電源プラグは同じコンセントに差し込み使用しない。また延長コードの使用や他の電気器具とのタコ足配線をしない。屋内配線(壁の中の配線)の電気容量が許容量を超え、火災や感電や電源プラグの異常発熱や変形の原因になります。 [禁止]
- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。傷ついたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、重いものを載せたりしない。また、ふすまやドアに挟まない。使用中は、結束バンドや針金などで束ねたりしない。傷んだまま使用すると、火災や感電やショートの原因になります。 [禁止]
- 可燃性ガスや腐食性ガスの発生する場所やたまる場所では使用しない。万一ガスが漏れて本機の周囲にたまると、火災や故障や変色の原因になります。 [禁止]
- 燃焼器具の上や周辺など熱気の当たる場所には設置しない。故障や変形のおそれがあります。 [禁止]
- 電気工事が必要な場合は、お買い求めの販売店または専門業者に依頼する。配線等に不備がある場合、火災や漏電や感電の原因になります。 [指示]
- 確実にアースをおこなう。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。アース工事は、電気工士の資格が必要です。お買い求めの販売店または専門業者に依頼してください。 [アース]
- 漏電しや断器を取り付ける。漏電しや断器が取り付けられていないと、火災や感電の原因になります。お買い求めの販売店または専門業者に依頼してください。 [指示]
- 取付けは、本機の重量に耐える所に、取付け工事説明書に従って確実におこなう。取付けが不完全な場合、火災や感電や水漏れ、本機の落下によるケガの原因になります。 [指示]
- 取付けは、必ず付属の「標準枠取付け枠」を使って正しく取付ける。取付け枠や取付け方法に不備があると本機の落下によるケガの原因になります。 [指示]
- 移動や再設置をする場合には、標準枠取付け工事説明書に従い確実におこなう。取付けが不完全な場合、火災や感電や水漏れ、本機の落下によるケガの原因になります。 [指示]

注意

- エアコンの室外吹出口付近には障害物を置かない。機能低下や騒音増大の原因になります。 [禁止]
- 本体背面にある水抜ゴム栓は、通常の使用では外さない。水漏れします。 [禁止]
- 雨どいの真下はさけ、吹き下などにより窓から雨水が浸入しない場所に取り付ける。室内を汚すことがあります。 [指示]
- 工場・海岸・温泉地帯など、特殊な場所での使用は避ける。故障のもとになることがあります。 [指示]
- エアコンから、テレビやラジオなどを1.5m以上離す。映像の乱れや、雑音が入ることがあります。 [指示]
- エアコンの室外吹出口からの温風や騒音が、隣家の迷惑にならないような場所を選ぶ。 [指示]

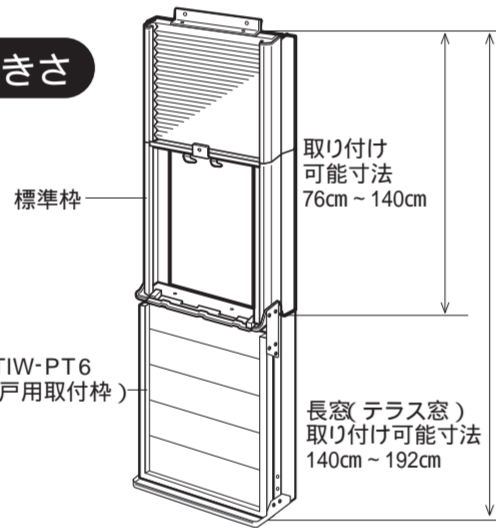
取付け前の確認事項

1 取付け可能な窓の種類と寸法

窓の種類

- アルミ製の窓
- 木製の窓
- 鉄製の窓

窓の大きさ

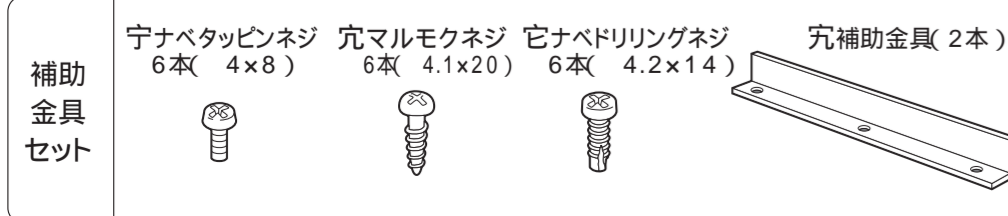
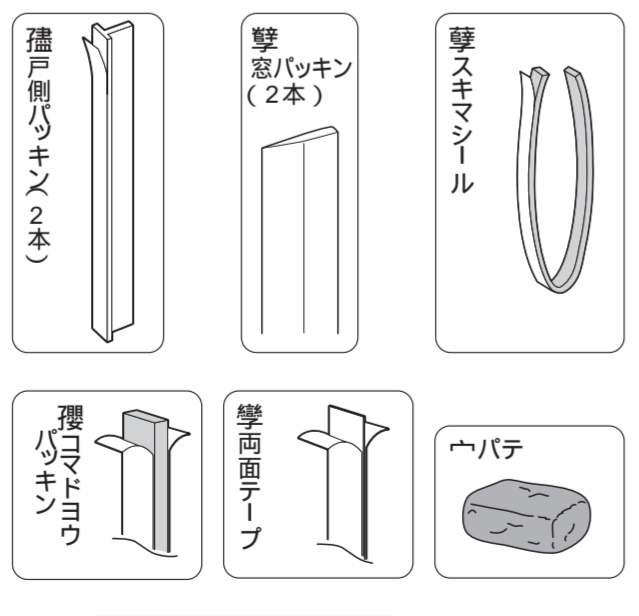
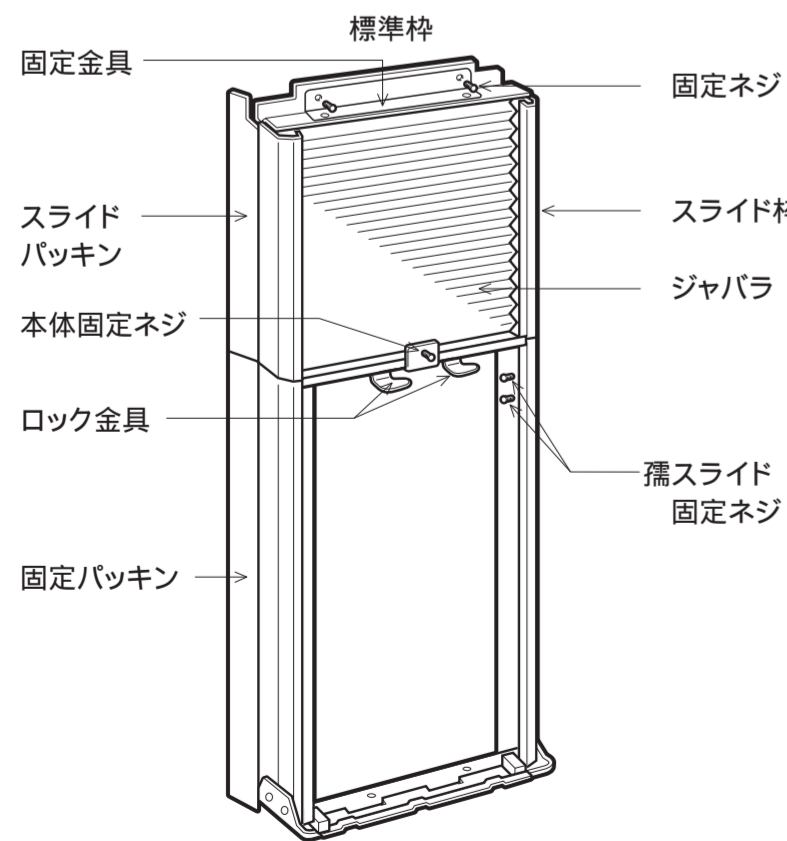


窓の高さが140cm～192cmの場合は、左図の「鍵足枠」TIW-PT6(「テラス戸用取付け枠」(別売))と接続してご使用してください。

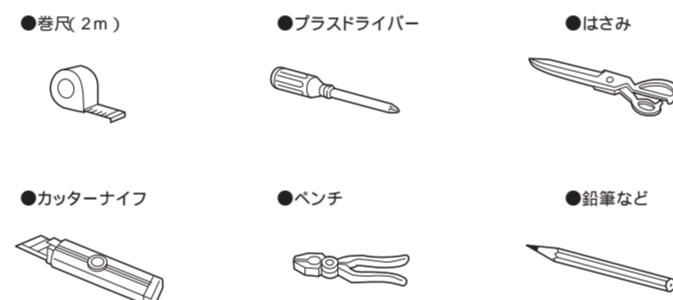
取付け可能寸法以上の窓には取付けをしない。取付けが不完全となりエアコンの落下により、ケガの原因になります。 [禁止]

4 部品の名称と数量

窓の種類などにより使用する部品が異なるため余る場合がありますが、余った部品、取付け工事説明書は移設時などに必要ですので、大切に保管しておいてください。窓サッシ固定用の鍵を使用する場合は市販の鍵を購入してください。



2 使用工具(窓によっては、ハンマー、木片、釘が必要です)



3 電源

警告

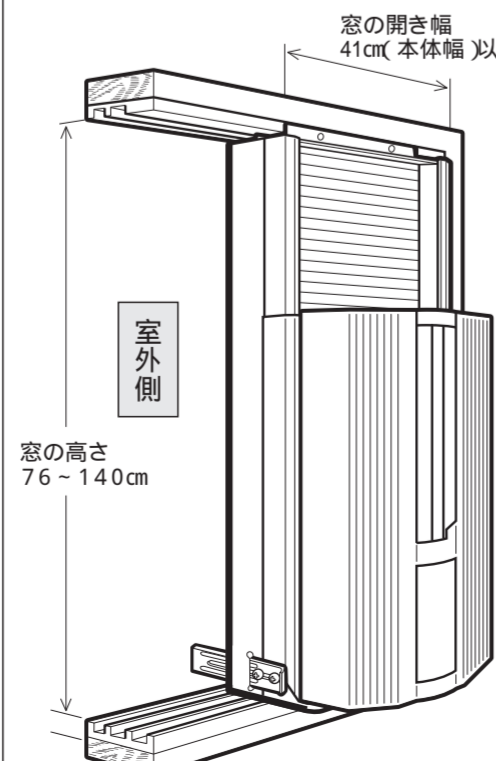
電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしない。屋内配線(壁の中の配線)の電気容量が許容量を超え、火災や感電や電源プラグの発熱の原因になります。 [禁止]

注意

電源プラグを差し込むときは2～3回抜き差しをおこない、なじませてから完全に差し込んでください。電源コードはゆとりをもたせ、電源プラグに力が加からないようにしてください。電源コードはステップなどで固定しないでください。 [指示]

5 組付け完成図

窓の右側、左側のどちらにも取付けることができます。

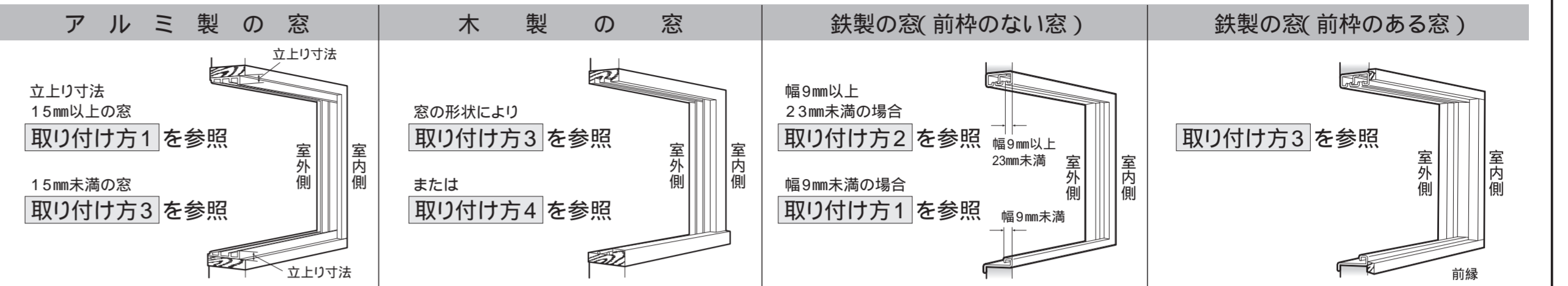


補助金具穴を使用する場合、取付け可能な窓の高さは1本では78cm、2本では80cmです。

標準枠の取付け手順

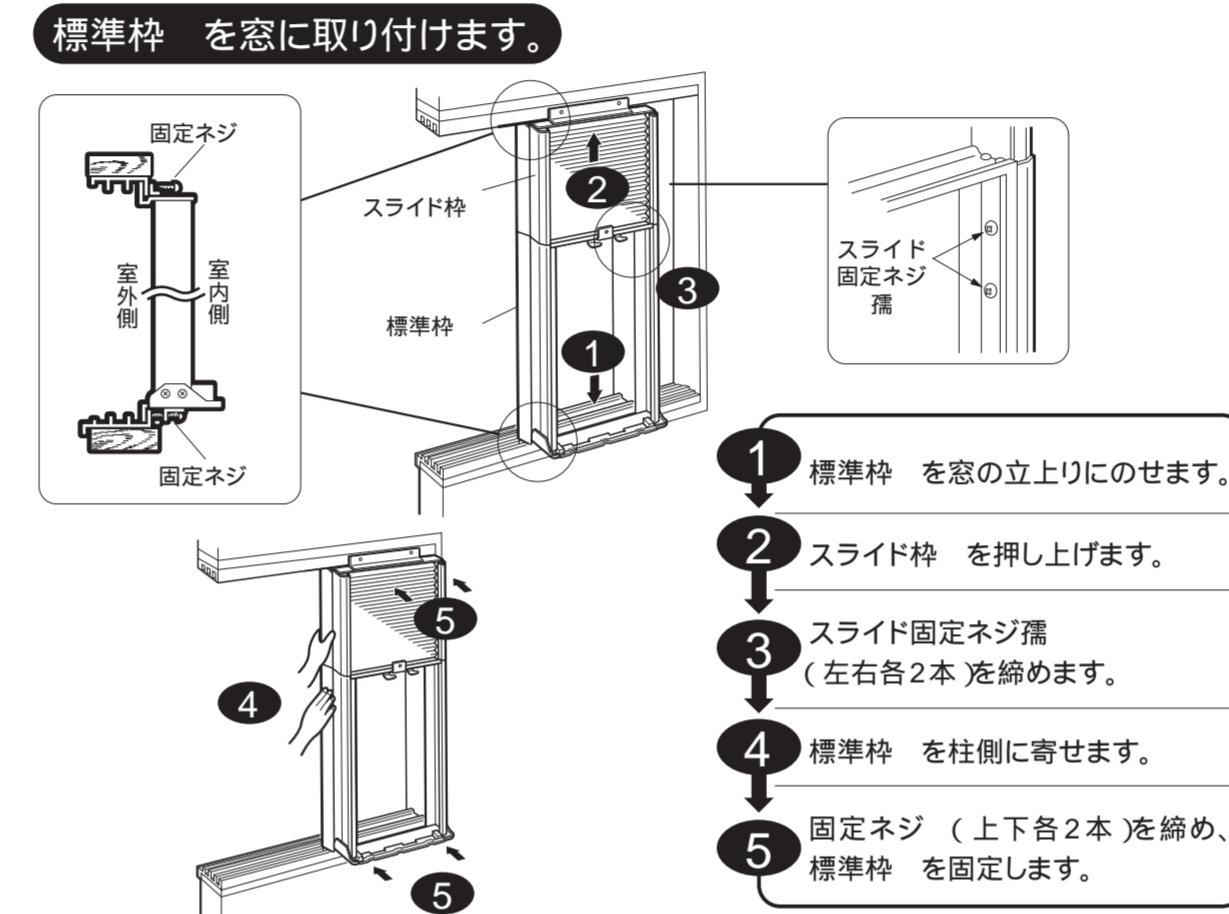
室内から見て右側取付けの場合を標準に説明します。左側取付けの場合は裏面を参照してください。左側取付けにした場合、アルミサッシなどでレールの左角にストッパーがあると、枠とサッシの間に隙間ができることがあります。このストッパーは、はずすことができます。取付け時のネジ締めは確実におこなってください。振動、落下の原因になります。窓の造りによっては、標準枠が取付けられない場合があります。そのようなときは、付属品の補助金具が木片を利用してください。

1 窓の種類の確認(窓の種類により取付け方が変わります。)

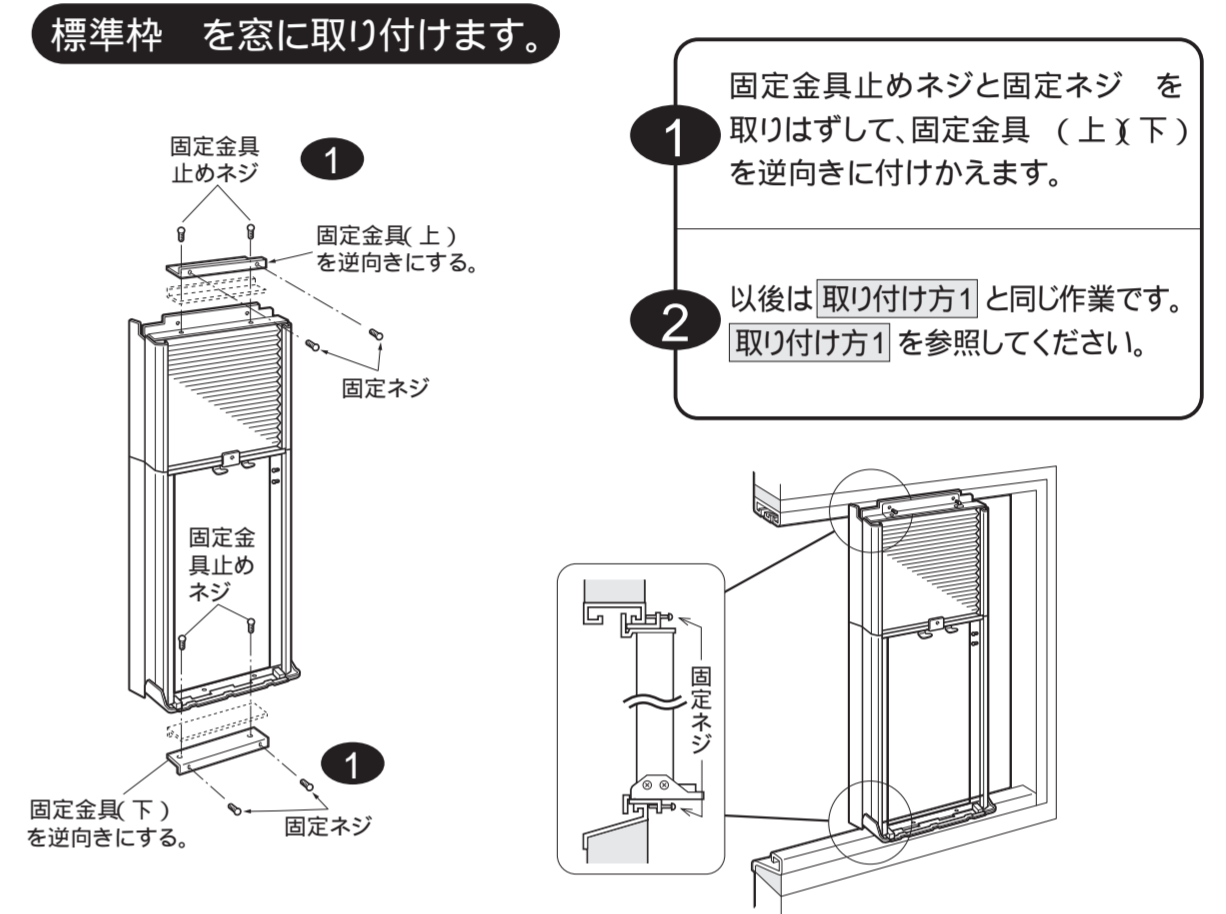


2 標準枠の取付け方

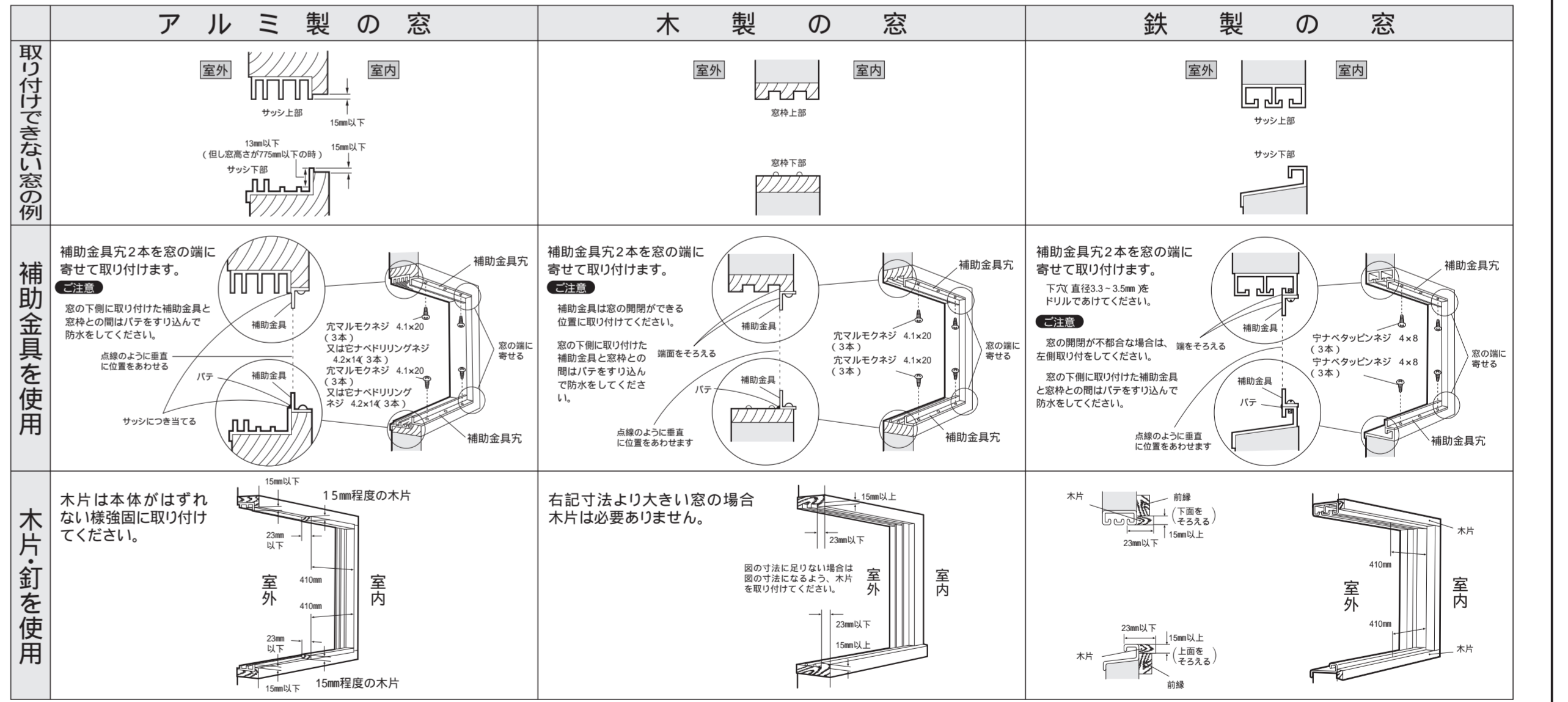
取付け方1(アルミ製の窓、立ち上がり寸法15mm以上の場合)



取付け方2(鉄製の窓、前枠のない窓、幅9mm以上23mm未満の場合)



取付け方3(付属品の補助金具が木片を利用する場合) 補助金具が木片の取付けが終了したら、標準枠を取付け方1または取付け方2に従って窓に取り付けてください。



取付け方4(木製の窓の取付け部が垂直でない場合)

